

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	緑とうるおい豊かな生活環境づくり	施策No	08-01	部課名	防災都市づくり部道路公園課
				課長名	大木 内線 2730
関連部課名	防災都市づくり部防災街づくり推進課、施設管理課				
行政評価事業体系	分野	環境先進都市			
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		

目的 緑あふれ、潤いと安らぎの場である公園を区民に提供し、誰もが快適と感じる生活環境をつくる。また、街なかにも緑のあるオープンスペースを確保することにより、街の防災性を向上させ、区民の生命財産を守る。

	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
指	生活環境の充実	3.19	3.22	3.19	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	子育て・教育環境の充実	3.46	3.43	3.46	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間が行政かを問わず）が充実していると思いますか？		
	防災性	2.28	2.31	2.30	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	公園・児童遊園面積（ha）	42.9	43.4	43.3	43.3	48.0	
	街なか花壇の数（か所）	90	94	94	97	152	最終目標：全町会への設置

（単位：千円）

	勘定科目	28年度	29年度	差額		勘定科目	28年度	29年度	差額
物件費	350,419	369,300	18,881	国庫支出金	4,397	300	4,097		
維持補修費	25,672	37,840	12,168	都支支出金	5,173	10,669	5,496		
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0		
補助費等	7,856	9,017	1,161	使用料及び手数料	16,501	17,914	1,413		
減価償却費	69,200	76,959	7,759	その他	2,202	2,422	220		
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	28,273	31,305	3,032		
賞与・退職給与引当金繰入額	7,502	28,157	20,655	行政収支差額(a)-(b)=(c)	777,008	693,685	83,323		
その他行政費用	203,731	66,335	137,396	金融収支差額(d)	738	470	268		
行政費用合計(b)	805,281	724,990	80,291	通常収支差額(c)+(d)=(e)	777,746	694,155	83,591		
特別費用(g)	0	806,287	806,287	特別収入(f)	0	792,418	792,418		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	13,869	13,869	当期収支差額(e)+(h)	777,746	708,024	69,722		
貸借対照表	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額	
	流動資産				流動負債	31,324	31,567	243	
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	24,400	24,400	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	6,924	7,167	243	
	有形固定資産	28,885,697	30,149,417	1,263,720	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	28,102,783	29,340,202	1,237,419	固定負債	120,968	107,067	13,901	
	建物	934,212	973,955	39,743	特別区債	24,400	0	24,400	
	建物減価償却累計額	494,693	499,552	4,859	退職給与引当金	96,568	107,067	10,499	
	工作物等	3,291,775	3,324,943	33,168	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	2,948,380	2,990,130	41,750	負債の部合計	152,292	138,634	13,658		
無形固定資産	0	0	0	正味財産	28,746,525	30,018,233	1,271,708		
建設仮勘定	5,670	0	5,670	正味財産の部合計	28,746,525	30,018,233	1,271,708		
その他の固定資産	7,450	7,450	0	負債及び正味財産の部合計	28,898,817	30,156,867	1,258,050		
資産の部合計	28,898,817	30,156,867	1,258,050						

財務諸表に関する特徴的事項等

行政費用として、物件費の割合が高くなっており、主に公園管理事業及び児童遊園管理事業の委託料が全体の約63%を占めている。
 前年度と比較するとその他行政費用が約67%の減額となっているが、これは主に藍染公園全面改修工事や南千住三丁目公園新設工事が終了したためによるものである。
 貸借対照表において、有形固定資産のうち土地が増加しているが、主に宮前公園用地を取得したものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成18年度には41.6haであった公園等の面積を着実に増加させ、平成29年度には43.3haとなった。</p> <p>都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを継続的に提供することができた。</p> <p>区内に花と緑の空間を創出していくために、区民が主体となる花壇づくりを支援し、街の環境美化と区民のコミュニティの醸成を図っている。その結果、平成18年度の13か所から、平成29年度には約7倍の94か所まで街なか花壇が増加した。</p>
課題	<p>『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている、公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。</p> <p>都電沿線バラの植栽数を増やすとともに、バラを区民とともに育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動をより一層充実させる必要がある。</p> <p>「街なか花壇」は地域偏在があるため、花壇数や協力者の少ない地域には、更なる協力を呼び掛けるとともに、各団体、ボランティアの高齢化が目立ってきたため、若い世代もボランティアに参加を促す必要がある。</p>
今後の方向性	<p>公園等面積の整備目標の達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる用地の確保に努める。</p> <p>都電沿線の公園等で積極的にバラを植栽するとともに、「荒川バラの会」の活動と併せ、都電沿線を区の「みどりの軸」「景観軸」として更に発展させる。さらに緑化推進のシンボルとしてPRするとともに、区の観光資源や商店街の振興策としても活用を図っていく。</p> <p>「あらかわ園芸名人」と「街なか花壇」、「荒川バラの会」の活動を連動させるとともに、町会等との連携も図り、若い世代によるボランティア活動への参加を促し、活性化を図っていく。また、防災スポットの整備に併せて「街なか花壇」の設置を検討するなど、防災性の向上とともに身近な緑の増加に努めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>花と緑があふれる、快適な、かつ愛着のわく街を創出していく必要がある。</p> <p>また、街の防災性向上のためにも、目標とする公園等の面積確保に向けて、積極的に取り組む必要がある。</p>

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用(千円)		決算額(千円)		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
都市計画公園用地取得事務	11-02-18	15,096	4,749	9,791	200	推進	推進	区の計画を踏まえ、取り組みを強化し推進する。
屋外広告物事務	11-03-02	18,990	17,117	2,622	1,980	推進	推進	屋外広告物を規制することは、良好な景観の形成等に貢献する事業である。
みどりの条例関係事業	11-04-21	15,528	27,879	5,727	15,482	重点的に推進	重点的に推進	既存の緑の保護や緑化の啓発など、区の緑化推進に貢献する事業である。
都電沿線バラ植栽事業	11-04-22	25,147	25,717	15,095	15,132	重点的に推進	重点的に推進	区民の満足度も高く、観光の視点からも重要な事業である。
あらかわバラの市	11-04-23	15,104	16,788	6,526	6,775	重点的に推進	重点的に推進	緑化のPR効果の高さに加え、観光や商店の活性化の視点からも重要な事業である。更に、バラを買い求める方々の期待に応えるため、様々な種類のバラを取り揃えていく必要がある。
区民主体の街なか花壇づくり事業	11-04-24	23,196	20,612	13,825	11,553	推進	推進	区民と協働して花と緑のまちづくりを進めるための重要な事業である。
花の公園整備事業	11-04-25	8,600	8,984	6,476	6,505	継続	継続	花と緑のまちづくりのモデルとして、今後も花壇の維持管理を継続する必要がある。
公園管理事業	11-04-26	284,563	300,908	221,130	226,576	推進	推進	快適に利用できるよう、適正に公園を維持管理する必要がある。
児童遊園管理事業	11-04-27	97,904	105,032	59,899	64,317	推進	推進	快適に利用できるよう、適正に児童遊園等を維持管理する必要がある。
公衆トイレ管理事業	11-04-28	35,728	33,827	24,780	22,476	推進	推進	区のイメージアップのためにも、トイレ利用者が快適に利用できるよう管理する必要がある。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
公園改良事業	11-04-29	37,839	42,552	37,293	87,820	推進	推進	公園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。
公園新設拡充事業	11-04-30	150,359	20,451	2,108,073	1,540,123	重点的に推進	重点的に推進	緑の拠点となる公園の整備は、緑の量的な充実に直接結びつくものである。
児童遊園改良事業	11-04-31	22,364	78,125	16,478	84,314	継続	継続	児童遊園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。
児童遊園新設拡充事業	11-04-32	52,103	11,380	79,911	40,512	推進	推進	児童遊園の整備は、子育て支援策や街の防災性向上にも効果的な事業である。
公衆トイレ新設改良事業	11-04-33	2,681	9,817	394	39,206	推進	推進	経年とともに劣化していく施設であり、継続して推進していく。また、設置基準を満たしていない地域への対応を考える必要がある。
グリーンスポット整備事業	11-04-34	82	1,049	-	-	継続	継続	グリーンスポットは公園や児童遊園を補完するとともに、街の防災性の向上にも効果がある。
合 計		805,284	724,987	2,608,020	2,162,971			